

発行：ものづくり実行委員会 発行責任者：今井康人
事務局：〒519-3405 三重県北牟婁郡海山町大字船津2655 森林組合おわせ内
tel 0597-35-0877 fax 0597-35-0890 担当：塩崎弘享 森本 亜希恵

2005 / 6 / 04

昨年11月からのものづくり実行委員会の活動内容を報告いたします。ご意見・ご希望など何でも結構です。今後、活動を進めるにあたり、皆さんの積極的な参加をお待ちしております！！

●第2回ものづくり実行委員会定例会の開催

昨年11月14日には第2回ものづくり実行委員会定例会が大田賀山林にて開催されました。具体的な事業が実施されるようになって以来初めての定例会でしたが、9月末の豪雨災害の影響等もあり開催が遅れてしまいました。当日の議題は以下の通りです。

1. 海山町ワークショップ木ラックスアート2004事業報告及び決算
 2. 第2回ものづくり勉強会事業報告及び決算
 3. 国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」公募事業助成申請
 4. 第3回ものづくり勉強会開催について
 5. 専門分科会設立について
 6. その他
- 勉強会の詳しい内容等は本ニュースレター内で報告しております。



お知らせ

昨年の7月に海山町で行われました木ラックスアート2004、「コースレーター」第3号でもご紹介させていただきましたが、この時にお手伝いで参加していただいた東京藝大の学生（篠田 恵里佳さん）の作品が、このたび愛知万博長久手会場のパビリオンで展示されることになりました。

作品紹介

サイズ W4×H3メートル
制作期間 約一ヶ月半
展示期間 六月一日～六月二十日まで
展示場所 愛地球博、長久手会場内「地球市民村」の愛着衣生活館にて展示いたします。



篠田 恵里佳さんのコメント

木を削るときに生まれる「かんなくず」という美しい素材を、「織物（タペストリー）」というまったくべつのモノに作りかえることができる。それがこのタペストリーのコンセプトです。「かんなくず」この出会いは昨年の夏、三重県の海山町で開催されたワークショップ「地域の主生産物であるヒノキの可能性を模索する」に参加したことがきっかけです。かんなくず？もちろん見たり、触ったり、削り出したりしたことはありましたが、織物の素材として使うのは初体験。しかも捨てられてしまふ運命にある削りカス。その素材に対する不安と可能性に未知なる出会いを感じました。

ねじり、経糸（たていと）にいていく連続的な行為を通して「かんなくず」という美しい素材はまったくべつのモノへと変化していきます。見て頂いているあなたと共有できる何かがありますように。

平成十七年度の事業について

事務局新体制

より実践的に円滑に事業を進めるために、役割を明確にし事務局の体制を整えました。また、新たなメンバーにも加わっていただき、新体制で今年度の事業を進めます。代表／今井康人
渉外／今井康人 速水亨 申賀廣代
事務代表／川端基洋
事務局／前川和俊 塩崎弘享
会 計／塩崎弘享
コースレーター／森本亜希恵
事業代表／濱田長宏

ものづくり専門分科会 の設立のお知らせ

平成十六年十二月にもものづくり専門分科会を設立いたしました。尾鷲市H園にて、ものづくり実行委員会のスタッフとものづくり専門部会の会合を行いました。夕食をとりながらの設立の趣旨やフリーディスカッションなど、初めて顔を合わせた方もいらつやいましたが、おおいに盛り上がりしました。それでは、ご賛同頂き、参加登録いただいた方をご紹介します。

ウッドメイク キタムラ

ヒノキ材の家具を中心に受注生産販売を営んでいます。FSC認証木材を利用して、建物からフォトスタンド、ペーパーウェイトなどの雑貨まで幅広くつくられております。

家具工房 畑中木工

広葉樹・ヒノキ材の家具の受注生産販売を営んでいます。釘を使わない古くからこの地方に伝わる穴を開けて組んでいく方法で組み立て、最後に漆など自然の塗料で塗装仕上げをしています。

ぬし熊

尾鷲わっぱ、尾鷲地方特有の木の弁当箱の製造販売を営んでいます。ヒノキ材を加工し、漆を塗った「尾鷲わっぱ」は、平成六年に三重県の伝統工芸品に指定されました。漆工芸の館として、東紀州まちかど博物館にもなっています。

田原屋

陶器販売を営むかたわら、ヒノキの鉋屑を利用して「ヒノキシート」、「ヒノキ団扇」など様々なクラフト商品を開発し、製造・販売をしています。又、「ヒノキシートクラフト」は、三重県内各地や東京でも体験展示会が開催されています。

クラフトフェスティバル／

植村一英 前川和俊

専門分科会／宮坂幸治郎 濱田長宏

家具コンペティション／塩崎弘享 濱田長宏

事業計画

大きな事業として以下の3事業を計画しております。

クラフトフェスティバル

専門分科会活動（盛大と専門分科会による協同製作）

尾鷲ひのきを使った家具のコンペティション

担当委員を決め、それぞれでより実践的な活動を進めます。

予算

〔決定〕

（社）国土緑化推進機構：80万円

（財）岡田文化財団：50万円

〔申請中〕

三重県産官学市民連携尾鷲ヒノキクラフト振興事業（仮称）

尾鷲林政推進協議会

（社）三重県緑化推進協会



本誌は「緑と水の森林基金」助成事業の協力の基、発行いたしました。



● 第3回ものづくり実行委員会定例会の開催

3月12日には第3回ものづくり実行委員会定例会が森林組合おわせ会議室にて開催されました。主な内容は平成16年度の文科省生涯学習まちづくりモデル支援事業の決算と平成17年度の事業計画及び予算確保についてでした。

1. 第3回勉強会事業報告及び決算
2. 専門分科会設立について
3. (財)岡田文化財団助成公募申請について
4. 三重県助成について
5. 文科省生涯学習まちづくりモデル支援事業決算
6. 規約制定について
7. 来年度事業計画について
8. 中部経産局補助事業申請について

平成16年度は、地域でものづくりに携わる人たちが或いは関心のある人たちと藝大、コクヨ、行政が相互理解を深めた1年でした。そのことをふまえ平成17年度は実際にものづくりを实践し、ステップアップする一年になります。少しずつでも良いので着実に前進していきたいものです。



三月二十日(日)大田賀山林にて開催された熊野古道プレイベント(主催 熊野古道センター)イベント実行委員会に、当委員会 専門分科会よりウッドメイキタムラ「ぬし熊」の二事業所が協力、好評を博しました。同イベントは、平成十九年オープン予定の熊野古道センター(仮称)の構造物として採用された「尾鷲ひのき」の魅力を体験することを目的として開催されました。「ウッドメイキタムラ」北村英孝さんと堀内敏彦さんは、押し寿司の型を担当、参加者二十名が自分で作った型に、用意された寿司飯と具を詰めてカワイイ押し寿司の出来上がり。「ぬし熊」世古効史さんは、ひのき板の曲げと桜皮を使った閉じの実演の後、参加者二十名が底板の木取りと底入れをして、マイわっぱが完成！。参加者は、慣れない手つきで糸鋸や金槌を使いながら、ひのきの香りと感触に満たされた一日となりました。

熊野古道センタープレイベント

専門分科会が協力

ウッドラック

カントリー家具クラフトを中心に、受注生産されています。最近では、カントリー家具だけでなく、普通の家具や木の看板等も制作されています。

John

陶芸工房による陶芸製品の生産販売を営みながら、尾鷲の深層水を用いた自家製塩の製造販売や、直火で利用可能な陶製縄文鍋の販売並びに縄文鍋と深層水塩を用いた縄文式葉っぱ料理レストランまで経営されています。

うるし工房 ねもと

職人歴四十年 木彫堆朱、日本漆工学会員の根本さん。ご自宅は、「東紀州まちかど博物館」にもなっており、文化庁県展選抜展や連続しての栃木県芸術祭グランプリ賞受賞作品を展示しています。

クラブ長浜

定年退職された方々で集まり設立しました。船舶模型を木づくりから組み立てて行い制作しています。

大自然本舗 えむてい

白炭(紀州備長炭)の製造及び販売を営んでいます。又、製炭家として、尾鷲市海山町の山中で二十四時間三百六十五日作り続けています。現在、海山町に備長炭窯を建設中。

濱野 匡宏さん

鉄を素材としたアーチスト。椅子やオブジェ等を中心に、制作活動を行っています。又、本業は尾鷲で喫茶「スケール」を営み、ご自身の作品等も展示しています。

大形聡子さん

森林組合おわせに勤務し、ヒノキ材を中心としたクラフト品を制作しています。中でも、尾鷲ヒノキを利用した「ヒノキの積み木」は問い合わせが多数あります。

専門分科会は、「ものづくり」をなりわいとする方を中心に設立し、自身のデザイン性の向上、技術品質の向上などを目的とした会です。地域としては、尾鷲市、紀伊長島町、海山町を中心として構成されており。

今年度から、東京藝術大学のカリキュラムの下、専門分科会を対象とした事業が実施されます。

現在十一事業所が参加していますが、興味のある方は事務局迄お問い合わせください。



三重の子どもたち展見学

昨年7月に開催した海山町ワークショップ「ボラックスアート2004」の締めくくりとしてその作品が三重県立美術館で一月四日から一月三十日に開催された「三重の子どもたち展」に展示されました。

被災した海山町ですが、子供達から元気になってもらい元の笑顔を取り戻す手助けが出来ればという美術館の厚意により、一月十日にワークショップに参加した子供達と地元サポーターを展示会に招待していただきました。

更にワークショップの時に県内全域から来てくれたサポーターも、この日わざわざ子供達にまた逢えると喜んで駆けつけてくれました。

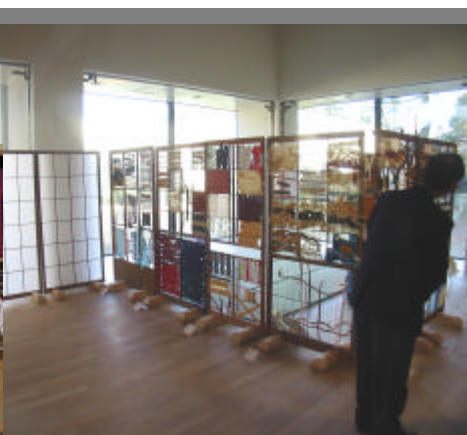




舞台裏でのワンショット!



説明を受ける子供たち



半年ぶりの再会に照れくさそうな子供達でしたが、すぐに楽しかった二日間のワークショップを思い出し笑顔が咲いていました。
当日は三十二名が参加し、子供達の展示作品見学の他にも、普段は見ることの出来ない美術館の舞台裏などを案内してもらいました。

真剣な表情の参加者



第三回ものづくり勉強会
東京勉強会 イン 東京藝大
二月二十五日から二十七日の三日間、ものづくり実行委員四名ものづくり専門分科会九名の総勢十三名で東京藝大卒業作品展示視察ツアーをおこないました。二十五日の夜東京に向け出発、東京都台東区上野にある水月ホテル森鷗外の住居あとを改築した宿に宿泊、翌日、東京藝大卒業修了作品展の見学のため、藝大校門前にて藝大の先生方及び専門分科会メンバー、実行委員が集まり、見学にあたっての注意点等を聞き、三つの班に分かれ見学をおこないました。



東京勉強会での「思ったこと、気付いたこと」



皆様と共に回ることができ、違った見方で卒展を観ることができました。
三田村 有純先生

学生さん達が、作品に夢中になってこつこつ学校で勉強でき作品ができあがるといふことに対して、羨ましく、又恵まれていると感じました。
濱野 匡宏

若い人のエネルギーはすごかった。どの作品も作者のこだわりが聞けて良かった。
大形 聡子

作品展示を見せていただけて若い人達の思いきった表現力に感心した。
中村 早苗

今回、卒展を見学し、木であり鉄であり……素材の持つ意味(意義)を改めて気づかせていただきました。
浜田 長宏

素直でわかりやすい形というのは、誰にでも受け入れられるものなんだと感じました。表現したいことがきちんと整理されているとストレートに第三者に伝わる?と思いました。
畑中 良美

作品のダイナミックさとその人(作者)の印象が違うことが多い。
速水 紫乃

卓越した技術によってテーマを的確に表現している。作者が表現したいことと観客の理解とが一致するものと、まったく理解できないものがある。
東 豊

普段は作品の表面的な面(造形的、意図的)しか目に入っていない。作者が表現したいことと観客の理解とが一致するものと、まったく理解できないものがある。
隈部 文葉

個人的には自然を取り扱った作品がいくつかあり、その表現の方法がそれぞれに大変おもしろかった。
速水 亨



いろんな素材を使って我々が考えようもしないようなものを魅力的に創造している若者がたくさんいて素晴らしいと思う。若い人達が一生懸命自己表現をやっている姿は、輝いていて美しいと思った。懐かしい気持ちになり、素直にキャッチできた。
東 洋代

本日、すべての作品を見せていただいたつもりが、後ほどの勉強会ではまったく意識していなかった作品が取り上げられており、少しヤバイと思いました。その価値観の差異が面白いと感じました。
今井 康人



第3回ものづくり勉強会 in 東京藝大

魅惑的な
フォルム・・・



今にも飛んで行きそ～!!



あいにく、修了作品展はこの日が最終日で、午前中までの公開の為、足早での見学となりました。見学の中で、学生や先生方の説明を聞き、学生たちの想像力、技術力のすごさに圧倒される見学者もいました。



午後からは、藝大の先生方や見学者の方々が撮影した作品の写真を基に、勉強会を開き作品を見る視点、デザインの構成について先生方と積極的な意見交換が成されています。ただ単に作品を拝見するのではなく、違った角度から見ることや、作品の中に秘められた学生さん達の思いなどを感じることで、またあらたな作品の一面に出会える喜びを知りました。

温もりと懐かし
さを感じさせる
作品でしたよ。



勉強会も終わり、学生さんたちを交え、交流会が開かれました。その中で専門分科会の方と学生さん達の間では、意見交換がなされ、若い方たちの感性の豊かさを目の当たりにし、一緒にものづくりをしたいという声も聞こえてきました。今度は是非海山町にもきていただき、自然とふれあいながらものづくりを実現できたらと思います。

最終日の三日月は、東京での消費者ニーズがどのようなものかを知るために、新宿リビングデザインセンター ozone オゾンの見学、青山のインテリアショップの散策にかけました。

ozoneでは家具、食器、キッチン、お風呂等の日用品から住宅設備まで家の中にあるあらゆるものがここでは見られ、なおかつデザイン性にも優れたものばかりでした。見学者の方々は自分の専門分野の商品を熱心にみていました。参考になるものもあつたのではないのでしょうか！その後、青山の表参道まで足を運びインテリアショップや、家具専門店をまわることで、普段とは違った斬新なデザインの商品を見ていただき、みなさんのデザイン感覚に良い刺激を受けていただいたのではないかと思います。

